

無料法律相談

12月 11日(木) 午後4時〜 要予約

希望の方は事務所まで連絡をお願いします

## 商売を語る会に35人が集う



11月28日(金) 18時30分  
から白河市産業プラザ人材  
育成センターにおいて「商売  
を語る会」が開かれ35人の  
会員さんが集まりました。経  
営金融部会責任者で南條幸  
男白河民商副会長のあいさ  
つのあと、

西郷2支部の小山公子さ  
んが「民商運動に参加して  
：」と題して民商活動に参加  
するまでと現在の活動につ  
いて話をしていただきました  
。個人の職歴から結婚して  
今の家業に就き、会社役員と  
して記帳に携わりながら、婦人部の  
活動に参加した経験を素敵に語って  
いただきました。婦人部の役員の皆  
さんのあたたかな見守り、若手部員  
に参加してもらおう



次に、中畑支部で  
民商副会長の佐久間  
政和さんが「事業継  
承に成功して：」と  
題し継承したその後  
を話していただきました  
。継承した後の

話はさらっとして、自分が調査を受けた  
とき一人で対応したこと、事業の敷地を  
税務署員が見て税金に直結したこと、国  
税が決まって一年分×三年分で税金が  
算定され、そのあとの地方税に苦しめら  
れたことなど話されました。今回立ち会  
った支部会員の税務調査で、多くの会員  
や役員が応援してくれた様子を、ホワイ  
トボードを使って話をしていただきま  
した。

快く引き受けていただいた小山さん、  
佐久間さん、ありがとうございました。

全商連

自主申告サポーター  
学校が開かれる

11月25・26日の両日  
全商連自主申告サポーター学  
校が開かれました。令和7年  
分申告に向け「例題で学ぶ確  
定申告の仕組みと税金計算」  
と題し、25日は会員事務局  
を含め7名が、26日は8名が  
参加し、所得税と消費税の税  
金の仕組みと計算方法を学び  
ました。今後、白河民商でも  
サポーター学校が開かれま  
す。ご案内が届いている方は  
ぜひご協力お願いいたしま  
す。



福島県婦協主催

## 一泊学習交流会 開催に13名

11月30日・12月1日(日・月)福島県婦協主催一泊学  
習交流会がしらかわ温泉弁天荘で開かれ、全県から33名  
が集い、白河民商婦人部員13名が参加しました。

午後1時半から始まり、全婦協会長の塚田豊子さんを招  
いて「女性差別撤廃条約総括所見から『所得税法56条』  
と『国保に傷病手当を』の運動」と題して講演を聞きました。  
「所得税法56条があると国保に出産手当ができないこと  
を初めて知った」「国保に出産手当や傷病手当がないこと  
に疑問を持たずにいた」と感想がありました。

夜の懇親会は替え歌を披露したり、○×クイズで盛り上  
がり民商音頭をみんなで踊って会場は大変盛り上がりました。

2日目は「戦後80年の証言」DVDの鑑賞と、シンポジ  
ウム「商売・人生・民商を語る」では矢吹西支部の長谷  
川タミ子さん(金物卸業)が商売にかかわってきた苦労と  
模索しながら事業継承になったこと、家族を支えながら趣味  
の水泳と出会ったこととお話されました。  
酒井洋子部長の閉会あいさつで終了となりました。